

中札内より元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校 校長室より

第1号

令和4年4月12日(火)

どうぞよろしく申し上げます

本年度より、校長となりました太田千佳子です。

北海道教育大学附属特別支援学校から来ましたが、十勝での生活が初めてで、挨拶回りをしながら、いろいろな先生方や生徒、地域の方々に地元のこについて教えていただいている毎日です。

挨拶でお邪魔する場所であう方々のお話から、学校が地域の方々に温かく支えられてきたことを感じています。これまでに卒業した生徒たちも、そんな地域の愛情をたっぷり受けながら社会自立してきたのだらうと思っています。

この通信を活用し、学校や地域のことを校長室から発信できればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



中札内と幕別を行ったり来たりします

中札内高等養護学校の校長は、中札内高等養護学校と幕別分校を行ったり来たりしています。初めての十勝道の運転にドキドキしながらの毎日です。

道中、春に向けてどの地域の畑も今か今かと種まきの季節を待っているように感じます。遠くに見える日高山脈の山の雪と、畑の様子がとても綺麗な道中です。(今は鯉のぼりもあちこちで見かけます(*^o^*))

先日道に迷い、道路工事をしていた方に話しかけました。ご自身も地元ではないというその方が、一生懸命道を教えてくださったのを見ながら、十勝は人を優しくする・・・と思いました。



畑と日高山脈とこいのぼり

始業式のあとは新入生を迎える準備です

新しい年度を迎えた生徒たちは始業式で自分たちの進級を意識すると、さっそく入学式の準備です。1年生の教室を飾り付けしたり、入学式会場の椅子を並べたりと忙しく動く生徒たちを見て、学校の文化を継承しようとする生徒たちの姿を見ているような気がしました。準備の中で生徒たちは、「ようこそ」「よろしく」の思いを伝える姿が育っています。また、これらの準備を通して、新しい先生たちとの関係性も作られているように思います。新しい仲間でスタートする一年、こんなふうに始まっています。



式の会場を飾る農業科の生徒

今年も給食始まりました

始業式の日、今年度最初の給食がスタートしました。今日のメニューは「豚汁、豚肉ともやしの炒め物、白菜の浅漬、麦ご飯」。野菜が多く使われていてヘルシーでうれしいです。多くの食材を使った給食を食べながら、生徒と栄養の話も盛り上がりそう。どのクラスもほとんど残食ゼロ。季節ごとに豊富な食材が取れる十勝。給食、これからとても楽しみです。

